



大河小だより

小川町立大河小学校
令和7年10月14日 第18号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）

【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」

【10月の生活目標】 「友だちを たいせつにしよう」

「最高の運動会」となるために

10月6日（月）に校長講話をいました。次の内容は、私が話した内容の省略したものを載せさせていただきました。

1点目は、10月10日は「目の愛護デー」です。目を守るためにも、ゲームや動画を見すぎると目が悪くなります。目を大切にするために、ゲームや動画を見る時間をお家の人と決めてください。



2点目運動会についての先生方の思いです。

5・6年生の自主学習で「運動会を話題にした日記」を読むことがあります。その内容には、「最高の運動会にしたい」という言葉がたくさんあります。校長先生も同じ気持ちです。「最高の運動会」にするためには、練習も本番のように真剣に取り組んでください。また、体に疲れがたまらないよう、病気にならないよう健康にも気を付けていましょう。

皆さんのがんばっている姿やたくさんの笑顔は、お家人や地域の人の元気のエネルギーです。校長先生は、皆さんのがんばる姿を期待しています。

また、先生方も「最高の運動会」になるためにがんばっています。最初は用務員の森さんです。グランドの草刈りや学校の周りをきれいにして「大河小の皆さんにがんばってもらいたい」という気持ちで取り組んでいます。

次に、大河小学校の全員の先生も「最高の運動会」となるため、見えないところでがんばっています。朝早くからグランドのラインを引いたり、用具を出したりして、運動会の練習の準備や運動会当日に向けて、皆さんが協議や演技に自信を持って取り組んでもらいたいと思い、頑張っています。

では、先生方は、朝早く来て、夕方も遅くまで残っている理由が、なんだと思いますか？ それは、児童の皆さんのが大好きで、昨日より今日の勉強で「わかった・できた」という成長を感じてもらいたいと思っているからです。これは運動会でもそうですが、普段の国語や算数の勉強でも同じ気持ちです。



このように、皆さんことを思っている先生方ですが、運動会の仕事が入ってきて、児童のみんなも忙しい日々が続いているが、先生方も忙しい毎日です。

これはある学校の話ですが、忙しい中、先生が子供たちのことを思ってプリントを作ったのですが、それを破いたものが見つかったそうです。また、子供たちのことを思って、学校が買ったものを壊した人がいたようです。大河小学校の皆さんには、そのようなことはしませんよね。

みんなの持っているランドセルやくつ、教科書、そして学校にあるすべてのものは、多くの人の努力や子供たちのことを思って愛情をこめて作られています。

大河小学校の先生方は、皆さんを大切に思っています。また、大河小学校にある全ての物には多くの人の努力や愛情によって作られています。そのことに感謝の気持ちを持つ大河小学校の皆さんであってほしいと願っています。



最後に3点目です。校長先生からのお願いです。

グランドに運動会で使うラインが引いてありますが、それはなるべく踏まないように意識してください。あのメジャーリーガーの大谷選手も野球場に引いてあるラインは、踏まないようです。なぜでしょうか？

もし時間があったら、理由を調べて校長先生に教えてください。

以上で校長先生の話は終わります。

運動会

運動会のことを調べていたら、「運動会」というすてきな詩があることを知りました。この詩は、なんと島崎藤村がつくったものです。とても心に残ったので、紹介します。

そして、いよいよ今週の土曜日が、運動会です。

大河小の皆さん、今までの練習の成果を発揮して、保護者の方々に、このような姿を見せてくれると思います。

島崎
藤村

きみたちの力いっぱいやる演技がみたい。

感動をよぶひたむきで

まじめな姿がみたい。

自分をごまかさずあまやかさず

正々堂々と最後までやりぬく姿は美しい。

強くなくてもいい。

速くなくてもいい。

上手でなくてもいい。

そして負けてもいい。

しかし 絶対に許せないのは
中途半端なやり方とするい根性。
全体の美をそこなう行為である。

手話体験を行いました(4年生)

4年生は総合的な学習の中に福祉教育があります。今回は、「手話」について学習しました。学校から小川町社会福祉協議会に講師の依頼をしたところ、6名の方にご来校いただきました。

授業では、果物などの絵を見せて、この絵のものをどう手話で表すかをクイズ形式で楽しく教えていただきました。また、講師の方から、耳の不自由な方と街であった時の対応の仕方を教えていただきました。

最後に、今回「私は、〇〇が好きです。」という手話を教えていただき、児童一人一人が発表できました。今回、手話を教えていただいたことで手話への関心も高まり、耳の不自由な方の生活についても理解を深めることができたようです。



稲刈りを行いました(5年生)

5年生が1学期から取り組んできたお米作りも、いよいよ稲刈りの時期を迎えました。10月8日(水)に腰一地区のウルトラパトロール隊の方や地域の皆様のご指導のもと、稲刈りをしました。

稲刈り用の鎌の使い方を教えてもらい、いざ田んぼの中へ。最初は、ひとつかみの稻の束を刈り取るのもおぼつかない様子でしたが、だんだんと慣れてきて上手に稻を刈ることができました。たわわに実った稻の穂を見ながら収穫の喜びを感じていました。

